

MLC300 中国文学

3年 1,2クォーター

担当教員 田村 容子

授業形態 講義, 演習

アクティブ・ラーニング アクティブ・ラーニング科目

単位数 2

曜日・時限 集中

授業概要

この授業では、20世紀以降の中国語圏文学について学ぶ。導入として「中国語圏文学」についての歴史的背景を学んだ後、中華人民共和国を中心に、台湾や香港、東南アジアなど中国大陸とは異なる歴史や文化を有する地域も視野に入れ、文学作品を読む。文化・言語の「越境」「混淆」に焦点をあてて作品を読解することで、多様なエスニシティが共生する中華社会への理解を深める。

到達目標

以下の点を目標とする。

- (1) 中国語圏の文学の読解を通し、その特質について分析する。
- (2) 作品の背景を理解し、複数の地域の文学を通し、20世紀以降の中国語圏文学史を考察する。

先修科目

特になし

教科書・参考資料等

- (1) 『中国現代文化 14講』関西学院大学出版会、2014（予定）
- (2) 藤井省三『中国語圏文学史』東京大学出版会、2011（予定）
- (3) 「コレクション中国同時代小説」シリーズ、2012（予定）
- (4) 「台湾熱帯文学」シリーズ、人文書院、2010～2011（予定）
- (5) 「台湾セクシュアル・マイノリティ文学」シリーズ、作品社、2008～2009（予定）

授業の方法

この授業は講義・演習形式で進める。導入部分では、教員による作品紹介・解説を行う。演習では毎回担当者を決め、担当者は課題作品の背景・概要・読解について発表を行う。その後、全員で発表の内容を検討する。

成績評価

ディスカッション：

この授業では、毎回の演習においてディスカッションを行う。ディスカッションの内容は、次の二点である。(1)学生によるプレゼンテーション、(2)学生相互によるコメント。

成績

- 45% ディスカッション
- 55% レポート

授業スケジュール

第1回： ガイダンス

第2回： 課題作品の解説と選定

第3回： 中国語圏文学史について概説

第4回： プレゼンテーションとディスカッション

第5回：プレゼンテーションとディスカッション

第6回：プレゼンテーションとディスカッション

第7回：プレゼンテーションとディスカッション

第8回：プレゼンテーションとディスカッション

第9回：プレゼンテーションとディスカッション

第10回：プレゼンテーションとディスカッション

第11回：プレゼンテーションとディスカッション

第12回：プレゼンテーションとディスカッション

第13回：プレゼンテーションとディスカッション

第14回：プレゼンテーションとディスカッション

第15回：プレゼンテーションとディスカッション

事前・事後学習

- ・ 予習：毎回の課題小説を読み、自分の意見を整理してこること（1時間程度）。
- ・ 復習：授業で扱った小説の関連文献を読むこと（1時間程度）。